



保護者アンケートによる「学校評価」について(2)

学校長 小木曾敏樹

前号に続いて、「学校評価」の各質問項目についての学校の取組状況などを記載しました。回答の際に参考にさせていただければと思います。よろしくお願いします。

10 学校は、早寝・早起き・朝ご飯といった、基本的な生活習慣の育成について指導し、児童に定着させている。

- 本来的には家庭教育の範囲ではありますが、学級指導、家庭科、生徒指導主事からの指導などで、指導しています。
- 4年生以上については、「自分作りノート」を使い、自立的な生活姿勢の育成を目指しています。

11 学校は、命を守る訓練や登下校指導など、児童の命の安全を守るための努力をしている。

- 交通安全や登下校については、実地訓練を伴う指導だけで春に3回秋に1回行っており、他校の2倍は行っています。
- 火災や地震避難については年4回、告知なしや行方不明者を想定するなどの、より現実的な想定をして訓練を行っています。
- 不審者対応訓練は、不審者の侵入ルートを変えて2回目を、Jアラート避難訓練を今後行う予定です。
- 不審者事案の発生時や熱中症の心配がある場合などは、全職員体制で下校の見届けを行ってきました。

12 学校は、心の健康調査やいじめアンケートなどを行い、教育相談を適切に行い、児童の実態把握とケアに努めている。

- アンケート調査は毎月実施し、実施日に即、個別の聞き取り面談も実施し問題の把握と早期対応を行っています。アンケート用紙は、学年担任、養護教諭、生徒指導、管理職が全てチェックし、面談後の結果についてもチェックしています。
- このアンケート調査で、トラブルや困りごとを多く解決できています。
- 年に3回、「おはなしタイム」(児童との個別懇談)を行い、児童理解を深めるとともに、困りごとなどの確認を行っています。多くの児童は、特に困りごとなどなくても、先生と話せて良かったとか、話を聞いてくれてうれしかったと語っているようです。

13 学校は、児童の問題行動やトラブルに対して迅速に対応し、解決を図っている。

- 問題に対しては、即時即対応を原則にしています。問題の解明やケアは急ぎますが、指導や謝罪については、児童の状況を判断し、適切な時期を選んで行っています。
- 全ての問題は、生徒指導担当と管理職に報告されています。対応については、ほぼ組織として協議しその指示や許可を得て行っていますので、学校としての対応となっています。

- 14 学校は、対話的な学習、体験的な学習を重視し、児童に感動ある学習活動を行っている。**
- ・授業においては、ペアやグループでの考えの交流や共同追究など、対話的な学習を多く行っています。また、授業で分かったことなどを言語化し交流することで、確かな学力の定着を図っています。
 - ・学年に応じて、校外に出たり、調査をしたり、聞き取りをしたりして、実際に行ったりふれあったりすることを重要視しています。

- 15 学校は全ての教育活動を通して、確かな人権意識を身に付けさせる人権教育を行っている。**
- ・成長過程の子どもたちであり、トラブルやいじめは起こります。それをいかに指導し成長に導くかが大切だと考え、安易な解決手段とならないよう、生徒指導会議を開催し対応に当たっています。
 - ・人権教育は、南小学校が大切にしている教育です。岐阜県教育委員会からは2年続けて人権教育優秀校として表彰を受けています。人権集会などの行事だけではなく、グッド・レポートやいいところ見つけ、やさしさの花など、日常的な人権活動が評価されたものです。本年度は、発展途上国の子どもたちに服を届ける「服の力」プロジェクトに参加し、視野を世界に広げた人権教育を行っています。

- 16 学校は、発達段階に応じた成長を促すため、運動会等の行事や特別活動を工夫し実施している。**
- ・運動会、歌声交流会、南小大冒険、縦割り遊びなど、子どもたち主体の、子どもたちの力が発揮でき成長できる取組になるよう、工夫しているところです。他校よりもこだわりをもって行っていると自負しているところです。
 - ・行事ではありませんが、児童会の各委員会が主体となって取り組むキャンペーンや行事が多いのも本校の特徴です。直近だと、人権集会、服の力プロジェクト、ハイタッチ挨拶運動、体力作り週間・・・。子どもたちの自治的活動、奉仕的活動が、成長につながり、下級生からの憧れにつながっていると考えています。児童の意欲を全て支持すると、児童の過負担になる可能性があり、留意して行っているところです。

- 17 学校は、学校報「南校だより」や学級学年通信、ホームページなどを通して、家庭や地域に学校の様子や情報を伝えている。**
- ・他校では学校報を月一回発行しており、表面が記事、裏面が月の行事予定というのが一般的です。月に数回不定期で発行している学校は珍しいと思います。地域の方々からも、読んでいますよとお声がけいただくことが多く、ありがたく思っています。
 - ・ホームページについては、記事の更新回数の多い学校で月に30P、少ない学校は0P、平均では月に5P程度ですが、本校は毎月80P程度更新しています。
アクセス数は、多い学校で10,000回、少ない学校だと500回程度ですが、本校については、毎月30,000回となっています。1日平均1,000回のアクセスがあり、全てのご家庭が土日も含め毎日、1日に4回アクセスして下さっている計算になります。
 - ・学校における働き方改革はなかなか進まず、職員は毎日遅くまで勤務しています。そのため、学年・学級通信は必要最低限にするよう、校長が職員に指示しています。